



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年10月26日

上場会社名 旭精機工業株式会社 上場取引所 名
 コード番号 6111 URL http://www.asahiseiki-mfg.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山口 央
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 神谷 真二 TEL 0561-52-5300
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	5,865	9.3	219	112.1	259	88.0	171	86.8
28年3月期第2四半期	5,367	△5.7	103	△64.9	138	△57.4	91	△55.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	6.02	—
28年3月期第2四半期	3.22	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	18,879	13,052	69.1
28年3月期	18,950	13,112	69.2

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 13,052百万円 28年3月期 13,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	6.00	6.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,100	7.4	370	△22.1	430	△20.1	280	△20.0	9.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	30,887,396株	28年3月期	30,887,396株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	2,445,785株	28年3月期	2,444,513株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	28,442,147株	28年3月期2Q	28,446,888株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は国内外の経済情勢並びに予想できない資源高騰等の様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善が続き、緩やかな回復基調を示したものの、中国を始めとするアジア新興国等の景気下振れのリスクや、英国のEU離脱問題に起因する海外経済の不確実性の高まりなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社におきましては、コスト削減を徹底し、生産性の向上及び営業活動の強化を推し進め、業績の向上に努めてまいりました結果、売上高は58億6千5百万円と前年同期比9.3%の増加、営業利益は2億1千9百万円と前年同期比112.1%の増加、経常利益は2億5千9百万円と前年同期比88.0%の増加、四半期純利益は1億7千1百万円と前年同期比86.8%の増加となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

[精密加工事業部]

精密加工事業部における当第2四半期累計期間の売上高は、32億7千7百万円と前年同期比7.1%の減少となり、その内容は以下のとおりです。

「精密金属加工品」は、自動車関連部品は増加したものの、水晶振動子関連部品等が減少したことから、18億3千7百万円と前年同期比0.9%の減少となりました。「小口径銃弾」は、14億4千万円と前年同期比14.0%の減少となりました。

[機械事業部]

機械事業部における当第2四半期累計期間の売上高は、25億8千8百万円と前年同期比40.8%の増加となり、その主な内容は以下のとおりです。

「自動機・専用機」は、自動車関連向けが増加したことから、9億2千2百万円と前年同期比134.5%の増加となりました。「プレス機械」は、リチウムイオン電池缶向けが増加したことから、7億3千4百万円と前年同期比31.6%の増加となりました。「航空機部品」は、旅客機用部品が増加したことから、5億5千7百万円と前年同期比21.0%の増加となりました。「ばね機械」は、主に海外向けが減少したことなどにより、3億2千8百万円と前年同期比8.8%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は、前期末より7千万円の減少となりました。これは主に、たな卸資産が6億3千8百万円増加したものの、現金及び預金が6億4千2百万円及び受取手形及び売掛金が9千5百万円減少したことによるものです。負債につきましては、1千1百万円の減少となりました。これは主に、退職給付引当金が2千万円減少したことによるものです。純資産につきましては、5千9百万円の減少となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が6千万円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は40億7千万円となり、前期末より6億4千2百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりとなっております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は3億1千万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加により6億3千8百万円減少したものの、減価償却費で3億5千7百万円、税引前四半期純利益で2億5千9百万円及び仕入債務で1億8千5百万円増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は7億7千6百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得で7億6千9百万円支出したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は1億7千6百万円となりました。これは主に、配当金で1億7千万円支出したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年4月27日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期累計期間において、四半期財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,212,485	4,570,458
受取手形及び売掛金	3,364,569	3,269,079
製品	172,474	408,258
仕掛品	1,562,672	1,992,664
原材料及び貯蔵品	521,797	494,346
その他	131,462	149,654
貸倒引当金	△7,500	△6,400
流動資産合計	10,957,961	10,878,062
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,823,675	1,895,074
機械及び装置(純額)	1,724,803	1,745,813
その他(純額)	1,315,275	1,217,701
有形固定資産合計	4,863,754	4,858,589
無形固定資産		
	114,854	116,536
投資その他の資産		
投資有価証券	2,855,187	2,877,527
その他	159,943	149,904
貸倒引当金	△1,177	△884
投資その他の資産合計	3,013,953	3,026,547
固定資産合計	7,992,561	8,001,673
資産合計	18,950,522	18,879,735

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,580,445	2,600,288
短期借入金	900,000	900,000
未払法人税等	90,939	113,690
賞与引当金	213,472	217,729
役員賞与引当金	21,569	-
その他	800,845	810,881
流動負債合計	4,607,272	4,642,589
固定負債		
退職給付引当金	746,539	725,976
その他	484,118	458,330
固定負債合計	1,230,658	1,184,307
負債合計	5,837,930	5,826,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,175,416	4,175,416
資本剰余金	3,468,202	3,468,202
利益剰余金	4,337,920	4,338,486
自己株式	△343,768	△344,021
株主資本合計	11,637,771	11,638,084
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,474,820	1,414,753
評価・換算差額等合計	1,474,820	1,414,753
純資産合計	13,112,591	13,052,838
負債純資産合計	18,950,522	18,879,735

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	5,367,432	5,865,643
売上原価	4,589,888	4,943,142
売上総利益	777,543	922,500
販売費及び一般管理費	673,880	702,642
営業利益	103,663	219,857
営業外収益		
受取利息	245	426
受取配当金	22,801	24,666
固定資産賃貸料	19,787	19,951
その他	6,159	8,675
営業外収益合計	48,994	53,720
営業外費用		
支払利息	2,842	2,438
固定資産賃貸費用	10,690	10,050
その他	905	1,295
営業外費用合計	14,438	13,784
経常利益	138,218	259,793
税引前四半期純利益	138,218	259,793
法人税等	46,560	88,570
四半期純利益	91,658	171,223

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	138,218	259,793
減価償却費	315,875	357,335
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,187	△1,393
賞与引当金の増減額(△は減少)	△55,469	4,256
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△41,943	△20,562
受取利息及び受取配当金	△23,047	△25,093
支払利息	2,842	2,438
売上債権の増減額(△は増加)	969,976	95,489
たな卸資産の増減額(△は増加)	△550,028	△638,325
仕入債務の増減額(△は減少)	△60,731	185,931
その他	△338,163	146,984
小計	353,343	366,855
利息及び配当金の受取額	23,047	25,093
利息の支払額	△2,842	△2,438
法人税等の支払額	△105,832	△78,895
営業活動によるキャッシュ・フロー	267,715	310,615
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,000	-
有形固定資産の取得による支出	△153,391	△769,911
無形固定資産の取得による支出	△11,613	△19,108
投資有価証券の取得による支出	△3,117	△3,187
その他	△31	15,706
投資活動によるキャッシュ・フロー	△268,153	△776,501
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△515	△253
配当金の支払額	△169,894	△170,673
その他	△7,279	△5,187
財務活動によるキャッシュ・フロー	△177,689	△176,113
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	△26
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△178,156	△642,026
現金及び現金同等物の期首残高	4,916,888	4,712,485
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,738,732	4,070,458

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。